

商標

- Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V、SQL Serverまたはその他のマイクロソフト製品の名称および製品名は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- VMwareおよびVMwareの製品名は、VMware, Inc.の米国および各国での商標または登録商標です。
- Veritas、Veritasロゴは、Veritas Technologies LLC または関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本書の表記について

- Veritas Technologies LLC またはその関連会社を「Veritas社」と記載します。

免責事項

- このドキュメント内容は予告なしに変更される場合があります。また、発行元の許可なく、本書の記載内容を複写、転載することを禁止します。

前版からの更新については、[青字](#)で記載しています。

Backup Exec 20.xがサポートしている環境について紹介しています。

用語説明

- Backup Execサーバ : Backup Exec Serverをインストールするサーバ
- クライアントサーバ : Backup Exec Agent for Windowsをインストールするリモートバックアップ対象のサーバ

サポートOS

Backup Exec 20.x がサポートしているOS一覧です。

OSにより、一部未サポートとなる機能がありますのでご注意ください。

Veritas社が公開する最新のSoftware Compatibility List (SCL)は以下のサイトからダウンロードしてください。

https://www.veritas.com/content/support/en_US/doc/BE_20_SCL

※注意

富士通のサポート範囲と異なる場合があります。

アクセスの際に「www.Veritas.com」からユーザー/パスワードの確認があった場合はキャンセルをクリックしてください。

Microsoft® Windows Server® 2008 対象EditionおよびSP	備考
Microsoft® Windows Server® 2008 Standard (SP2)	32bitは、クライアントサーバとしてのみ利用可能 サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise (SP2)	32bitは、クライアントサーバとしてのみ利用可能 サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter (SP2)	クライアントサーバとしてのみ利用可能 サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 対象EditionおよびSP	
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Foundation (SPなし、SP1)	「SPなし」はクライアントサーバのみ利用可能 サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard (SPなし、SP1)	「SPなし」はクライアントサーバのみ利用可能 サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise (SPなし、SP1)	「SPなし」はクライアントサーバのみ利用可能 サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter (SPなし、SP1)	クライアントサーバのみ利用可能 サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2012 対象EditionおよびSP	
Microsoft® Windows Server® 2012 Foundation (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter (SPなし)	Backup ExecサーバのSDRはサポート対象外
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 対象EditionおよびSP	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Foundation (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter (SPなし)	Backup ExecサーバのSDRはサポート対象外
Microsoft® Windows® Storage Server 2012 R2 (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2016 対象EditionおよびSP	
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter (SPなし)	Backup ExecサーバのSDRはサポート対象外
Microsoft® Windows® Storage Server 2016 (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2019 対象EditionおよびSP	
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard (SPなし)	・クライアントサーバでの利用にはBackup Exec 20.3以降の適用が必要です ・Backup Execサーバでの利用にはBackup Exec 20.4以降の適用が必要です
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter (SPなし)	・クライアントサーバでの利用にはBackup Exec 20.3以降の適用が必要です ・Backup Execサーバでの利用にはBackup Exec 20.4以降の適用が必要です
Windows® PC対象およびSP	
Windows® 7 (SP1)	クライアントサーバのみ利用可能 サポートは終了しました
Windows® 8.1 (SPなし)	クライアントサーバのみ利用可能
Windows® 10 (SPなし)	クライアントサーバのみ利用可能

対応仮想環境

Backup Exec 20.x Agent for VMware and Hyper-V が対応している仮想環境の一覧です。

なお、仮想環境は富士通がサポートする範囲に準拠します。

VMware: <https://jp.fujitsu.com/platform/server/primary/software/vmware/support/>

Hyper-V: <https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primary/software/windows/technical/hv/>

VMware vSphere 環境(※)	備考
VMware® ESXi™ 5.5 (Update なし ~ 3)	<ul style="list-style-type: none"> VMware Virtual SAN 5.5はVMware ESXi 5.5 Update1以降で利用可能 Backup Exec 20.6以降で「Update なし ~ 2」はサポート対象外になりました
VMware® ESXi™ 6.0 (Update 1 ~ 3)	<ul style="list-style-type: none"> Update 1の場合、VMware社公開のパッチ適用が必須 未適用の場合はサポート対象外 <https://kb.vmware.com/selfservice/microsites/search.do?language=en_US&cmd=displayKC&externalId=2137545> VMware Virtual SAN 6.1はVMware ESXi 6.0 Update1以降で利用可能 VMware Virtual SAN 6.2はVMware ESXi 6.0 Update2以降で利用可能
VMware® ESXi™ 6.5 (Update なし ~ 3)	<ul style="list-style-type: none"> VMware Virtual SAN 6.5は利用可能 VMware Virtual SAN 6.6.1はVMware ESXi 6.5 Update1以降で利用可能 Update 3 を利用する場合は、Backup Exec 20.4 以降の適用が必要です
VMware® ESXi™ 6.7 (Update なし ~ 3)	<ul style="list-style-type: none"> VMware Virtual SAN 6.7は利用可能 ハードウェアバージョン14の仮想マシンの保護はサポートされておりますが、仮想変換、インスタントリカバリ、リダイレクトリストではハードウェアバージョン13で作成されます(Backup Exec 20.3で解除されました) Update 1 を利用するには Backup Exec 20.3 以降の適用が必要です Update 2 を利用するには Backup Exec 20.4 以降の適用が必要です Update 3 を利用するには Backup Exec 20.5 以降の適用が必要です
VMware® vCenter™ Server 5.5 (Update なし ~ 3)	Backup Exec 20.6以降で「Update なし ~ 2」はサポート対象外になりました
VMware® vCenter™ Server 6.0 (Update なし ~ 3)	
VMware® vCenter™ Server 6.5 (Update なし ~ 3)	Update 3 を利用する場合は、Backup Exec 20.4 以降の適用が必要です
VMware® vCenter™ Server 6.7 (Update なし ~ 3)	<ul style="list-style-type: none"> Update 1 を利用するには Backup Exec 20.3 以降の適用が必要です Update 2 を利用するには Backup Exec 20.4 以降の適用が必要です Update 3 を利用するには Backup Exec 20.5 以降の適用が必要です
VMware® vCenter™ Server Appliance 6.0 (Update なし ~ 3)	
VMware® vCenter™ Server Appliance 6.5 (Update なし ~ 3)	Update 3 を利用する場合は、Backup Exec 20.4 以降の適用が必要です
VMware® vCenter™ Server Appliance 6.7 (Update なし ~ 3)	<ul style="list-style-type: none"> Update 1 を利用するには Backup Exec 20.3 以降の適用が必要です Update 2 を利用するには Backup Exec 20.4 以降の適用が必要です Update 3 を利用するには Backup Exec 20.5 以降の適用が必要です

Microsoft Hyper-V環境	備考
Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter (SP2)	サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise (SPなし、SP1)	サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Datacenter (SPなし、SP1)	サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2012 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 Datacenter (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2016 Standard (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2016 Datacenter (SPなし)	
Microsoft® Windows® Storage Server 2016 (SPなし)	
Microsoft® Windows Server® 2019 Standard (SPなし)	利用するには Backup Exec 20.3 以降の適用が必要です
Microsoft® Windows Server® 2019 Datacenter (SPなし)	利用するには Backup Exec 20.3 以降の適用が必要です

※注意事項

•vSphere FT 環境に構築された仮想マシンのVADPバックアップおよびRDM物理互換モードは使用できません。

•Windows Server 2019のGRTはサポートしていません。

https://www.veritas.com/support/en_US/article.100044076

対応アプリケーション

Backup Exec 20.x Agent for Applications and Databases が対応しているアプリケーション一覧です。

Oracle	備考
Oracle 10g (Rなし, R1, R2)	サポートは終了しました
Oracle 11g (Rなし, R1, R2)	Rなし, R1のサポートは終了しました
Oracle 12c (Rなし, R1, R2)	R2を利用するには Backup Exec 20.3以降の適用が必要です Rなしのサポートは終了しました。
Microsoft SQL Server	
Microsoft® SQL Server™ 2005 (32-bit/64-bit) SP4	サポートは終了しました
Microsoft® SQL Server™ 2008 (32-bit/64-bit) SP3, SP4	サポートは終了しました
Microsoft® SQL Server™ 2008 R2 (32-bit/64-bit) SPなし, SP1, SP2, SP3	サポートは終了しました
Microsoft® SQL Server™ 2012 (32-bit/64-bit) SPなし, SP1, SP2, SP3, SP4	SPなし~SP3のサポートは終了しました
Microsoft® SQL Server™ 2014 (32-bit/64-bit) SPなし, SP1, SP2, SP3	・SP3を利用するには Backup Exec 20.5以降の適用が必要です ・32-bit, SPなし~SP2のサポートは終了しました
Microsoft® SQL Server™ 2016 (64-bit) SPなし, SP1, SP2	SPなし, SP1のサポートは終了しました
Microsoft® SQL Server™ 2017 (64-bit) SPなし	
Microsoft® SQL Server™ 2019 (64-bit) SPなし	Backup Exec 20.6以降の適用が必要です
Microsoft Exchange Server	
Microsoft® Exchange Server 2010 (64-bit) SP1, SP2, SP3	・Windows 2008 SP2 (64bit) 2012以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみサポート対象です ・SP1~SP2のサポートは終了しました
Microsoft® Exchange Server 2013 (64-bit) CU3, CU5, CU6, CU7, CU8, CU9, CU10, CU11, CU12, CU13, CU14, CU15, CU16, CU17, CU18, CU19, CU20, CU21, CU22, CU23	・Windows 2008 R2 SP1 (64bit) 2012以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみサポート対象です ・CU22以降を利用するには Backup Exec 20.4以降の適用が必要です
Microsoft® Exchange Server 2013 (64-bit) SP1	Windows 2008 R2 SP1 (64bit) 2012以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみサポート対象です
Microsoft® Exchange Server 2016 (64-bit) SPなし, CU1, CU2, CU3, CU4, CU5, CU6, CU7, CU8, CU9, CU10, CU11, CU12, CU13, CU14, CU15	・Windows 2012 (64bit)以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみサポート対象です ・CU10, CU11を利用するには Backup Exec 20.3以降の適用が必要です ・CU12を利用するには Backup Exec 20.4以降の適用が必要です ・CU13, CU14を利用するには Backup Exec 20.5以降の適用が必要です
Microsoft® Exchange Server 2019 (64-bit) SPなし, CU1, CU2, CU3, CU4	・SPなしを利用するには Backup Exec 20.3以降の適用が必要です ・CU1を利用するには Backup Exec 20.4以降の適用が必要です ・CU2, CU3を利用するには Backup Exec 20.5以降の適用が必要です
Microsoft Active Directory	
Microsoft® Windows Server® 2008 (32-bit/64-bit) SP2	サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2008 R2 (64-bit) SPなし, SP1	サポートは終了しました
Microsoft® Windows Server® 2012 (64-bit) SPなし	
Microsoft® Windows Server® 2012 R2 (64-bit) SPなし	Windows 2012 R2以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート
Microsoft® Windows Server® 2016 (64-bit) SPなし	Windows 2016以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート
Microsoft® Windows Server® 2019 (64-bit) SPなし	Windows 2019以降のOSにBackup Execがインストールされている場合のみGRTをサポート

※注意事項

- 1) Microsoft SharePoint 環境は、富士通ではサポート対象外です。
- 2) Windows Server Failover Clustering (WSFC) 環境のアプリケーションについてサービス稼働時のバックアップをサポートしていません。詳細については「本製品のお問い合わせ」よりお問い合わせください。
- 3) SQL Server AlwaysON環境はサポート対象外です。
- 4) Exchange DAG (Database Availability Group) 環境はサポート対象外です。
- 5) 富士通でのサポート範囲の詳細については「本製品のお問い合わせ」よりお問い合わせください。

対応Data ONTAPバージョン

Backup Exec 20.x NDMP Option は、ETERNUS NRI000F seriesのみ対応しています。
また、Data ONTAPのバージョンは以下です。(Cluster-Modeでの利用は制限としています。)

バージョン
Data ONTAP 8.1 (7-mode)
Data ONTAP 8.1.1 (7-mode)
Data ONTAP 8.1.2 (7-mode)
Data ONTAP 8.1.3 (7-mode)
Data ONTAP 8.1.4 (7-mode)
Data ONTAP 8.2.1 (7-mode)
Data ONTAP 8.2.2 (7-mode)
Data ONTAP 8.2.3 (7-mode)
Data ONTAP 8.2.4 (7-mode)

Deduplication Optionについて

- 1) 重複排除用ディスクストレージを保存するための場所として、専用のボリュームを用意することを推奨します。
- 2) 重複排除用ディスクストレージの容量が4TB以下の場合、最低4GBのメモリが必要です。
重複排除用ディスクストレージの容量が4TB以上ある場合は1TBごとに1GBのメモリが必要です。
- 3) 32bit OS の場合でも、バックアップ対象側で重複排除が可能です。

製品要件

メモリ

下記数値を目安に、使用する製品が必要とするメモリを加算してください。

使用する製品	必要となるメモリ	備考
Veritas Backup Exec 20.x	1GB	必須。
	2GB以上	推奨。
Veritas Backup Exec 20.x Deduplication Option	4GB以上	必須。 CPU: 最低4つ以上のコア、8つのコアを推奨。
	1.5GB	クライアント重複排除をする場合、クライアントサーバに必要。
その他	256MB	各オプション、エージェント製品毎。

必須ソフトウェア

必須となる製品	備考
Microsoft® .NET Framework 4.5.2	Backup Exec サーバに必須。 注意: Windows の一部のバージョンでは.NET Framework 4.5.2をサポートしません。異なるバージョンの .NET Framework を使う必要があるオペレーティングシステムで Backup Exec インストールプログラムを実行すると、Backup Exec はインストールを遮断し、必要なバージョンの .NET Framework をインストールするように指示するエラーメッセージが表示されます。

ハードディスク容量

使用する製品	必要となる容量	備考
Veritas Backup Exec 20.x	2.5GB	インストールに必要な容量。
Backup Exec データベースおよびカタログ格納先	バックアップ頻度に応じた容量。 重複排除用ディスクストレージは専用のボリュームに最低20%(5GB以上)の空き容量が必要。	

インスタントリカバリ機能

インスタントリカバリ機能を利用する場合、以下の要件を満たしてください。

インスタントリカバリ先	要件
Microsoft Hyper-V 環境	Microsoft® Windows Server® 2008-SP2-2012以降のBackup Execサーバ
VMware vSphere 環境	・Microsoft Windows Server 2012以降のBackup Execサーバ ・Backup ExecサーバにNFSの役割がインストールされていること

サポートクラウド環境

Backup Exec 20.xがサポートしているクラウド環境一覧です。

クラウド環境
FUJITSU Cloud Service for OSS IaaS

※注意事項

利用する際は以下の条件があります。

- サポートしている製品は以下です。
 - Veritas Backup Exec Server
 - Veritas Backup Exec Agent for Windows
 - Veritas Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V
 - Veritas Backup Exec Agent for Applications and Databases
 - Veritas Backup Exec Deduplication Option
- FUJITSU Cloud Service for OSS IaaS 上および、Veritas Backup Exec 20.xがサポートしているOSのみ利用可能です。
- FUJITSU Cloud Service for OSS IaaS 環境の仮想マシンをBackup Execサーバとする場合のバックアップ対象は、FUJITSU Cloud Service for OSS IaaS 環境の仮想マシンのみです。
- バックアップデータ格納先は、仮想マシンに接続しているローカルディスク(ディスクストレージまたは、重複排除用ディスクストレージとして使用)のみです。

サポートバックアップ装置

Backup Exec 20.x が、サポートしているバックアップ装置一覧です。

分類	バックアップ装置(※)	規格	I/F	備考	
内蔵	単体テープ装置	PG-DT504D	DAT72ユニット	USB2.0	USBテープデバイス用のドライバは、Veritas社から未提供。富士通から提供されているドライバを適用
		PG-DT504D1			
		PG-DT5046			
		PG-DT5048			
		PG-DT5049			
		PY-DT101			
		PY-DT102			
		PY-DT103			
		PG-DT601	DAT160ユニット	USB2.0	USBテープデバイス用のドライバは、Veritas社から未提供。富士通から提供されているドライバを適用
		PG-DT602			
		PY-DT201			
		PY-DT202			
		PG-LT203	LTO2ユニット	SAS	1)ファームウェアバージョンT61D以降の適用必須 2)インタフェースカード(PG-224B)のみサポートかつドライババージョン1.32.0.3以降の適用必須
		PG-LT303	LTO3ユニット	SAS	
	PY-LT301	LTO4ユニット	SAS		
	PG-LT401				
	PG-LT403				
	PY-LT411	LTO5ユニット	SAS		
	PG-LT501				
	PY-LT511				
	PY-LT611	LTO6ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 +Windows Server 2008 R2 Standard ・Windows Server 2012 R2 Standard ・Windows Server 2016 Standard ・Windows Server 2019 Standard/Datacenter	
	PY-LT611A				
	PY-LT711	LTO7ユニット	SAS	サポート対象OSは以下のとおりです。 +Windows Server 2008 R2 Standard ・Windows Server 2012 R2 Standard ・Windows Server 2016 Standard ・Windows Server 2019 Standard/Datacenter	
データカートリッジドライブ	PG-RD102D2	-	USB2.0	1)Veritas社からドライバは提供されていないため、OS標準のドライバを利用 2)複数のデータカートリッジにまたがるバックアップデータでのSimplified Disaster Recoveryはサポート対象外	
	PG-RD1024				
	PG-RD1026				
	PG-RD1027				
	PY-RD101				
	PY-RD102				
PY-RD103	-	USB2.0 USB3.0	1)Veritas社からドライバは提供されていないため、OS標準のドライバを利用 2)複数のデータカートリッジにまたがるバックアップデータでのSimplified Disaster Recoveryはサポート対象外		
PY-RD111					
PY-RD112					
PY-RD113					
デデュープアプライアンス	ETERNUS CS800 S4	-	Ethernet	CIFS接続をサポート。 OST(Open Storage)を利用する場合は、Backup Exec 商談窓口にお問い合わせください	
	ETERNUS CS800 S5				
ETERNUS CS800 S6					
ETERNUS CS800 S7					
外付け	テープライブラリ装置	ETERNUS LT20 S2	LTO Ultrium3 ハーフハイト テープドライブ	SAS	
			LTO Ultrium4 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	
			LTO Ultrium5 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	
			LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	
			LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	
			LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LTO8のメディアのみサポート (LTO7 Type Mメディアはサポート対象外)
			LTO Ultrium3 ハーフハイト テープドライブ	SAS	
		LTO Ultrium4 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium5 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LTO8のメディアのみサポート (LTO7 Type Mメディアはサポート対象外)	
		LTO Ultrium4 フルハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium5 フルハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LTO8のメディアのみサポート (LTO7 Type Mメディアはサポート対象外)	
		LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LTO8のメディアのみサポート (LTO7 Type Mメディアはサポート対象外)	
		ETERNUS LT40 S2	LTO Ultrium4 フルハイト テープドライブ	SAS FC	
		LTO Ultrium5 フルハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC		
		LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LTO8のメディアのみサポート (LTO7 Type Mメディアはサポート対象外)	
		ETERNUS LT60 S2	LTO Ultrium4 フルハイト テープドライブ	SAS FC	
		LTO Ultrium5 フルハイト テープドライブ	SAS FC		
LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC				
LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC				
LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LTO8のメディアのみサポート (LTO7 Type Mメディアはサポート対象外)			
ETERNUS LT140	LTO Ultrium6 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC			
LTO Ultrium7 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC				
LTO Ultrium8 ハーフハイト テープドライブ	SAS FC	LTO8のメディアのみサポート (LTO7 Type Mメディアはサポート対象外)			

※ Windows Server 2008 R2 Foundationとの組合せの場合、以下の装置をサポートしません。

- PY-DT101
- PY-DT201
- PY-RD101

-以上-